

【ニュースレター】 第36号

## 平成25年度の活動報告

今年度の活動も3月3日の横浜市立松本中学校でのコンサートで終了いたしました。今年度は(公財)浜松市文化振興財団との共催事業も加わって、合計33校で活動し、事務局はフル回転の1年でした。今回のニュースレターでは、**子ども達、演奏家、学校の感想を特集**します。

### 子どもは…

- ・**やばいな**、と思った。意味は、「うますぎる」ということ。本当に感動した。素人の私は何がうまいか下手か分からんけど今日は自分でも「うまい」というのが分かるくらいすごい演奏だった。(中学生)
- ・生の演奏は初めてで**衝撃**を受けた。(中学生)
- ・体全体を使い気持ちを込めて演奏していた。感動した。(中学生)
- ・**鳥肌**が立った。音楽は人の心を動かすことができる素晴らしい事と気付いた。(中学生)
- ・聴いているときは**別世界**にいるような気持ちだった。(中学生)
- ・楽器同士が語り合っているようで聴いていて心地よかった。(中学生)
- ・あんなすごい音楽を聞けてすごうれしい。ものすごくうまかったのでびっくり。(小学生)
- ・トランペットはプップッと軽快な音が出て面白い。**大人になったら買って吹きたい**。バイオリンは指使いが苦手で僕には向いてない。(小学生)
- ・上手になるには**「あきらめないで続ける」**と言うのがよく分かった。(小学生)



### 演奏家は…

- ・小学生のプレゼントの歌の素晴らしさに感動しました。(藤森亮一)
- ・子供たちの笑顔は何物にも代えられない宝物です。(戸田弥生)
- ・まっすぐな瞳で聴いてくれる子供に心が洗われました。(竹内真紀)
- ・「一つ一つの音を大事にしなければならない」と言う子どもの感想に感激。(阿部裕之)
- ・子どもの集中が切れた時「こびる」演奏に走る自分がいた。「本物」「王道の演奏」こそが子どもの心に響くと思うので、その姿勢を突き詰めていきたい。あのたくさんのピュアな瞳たちにすいこまれました。(松田理奈)



### 学校は…

- ・豊かで香り高い演奏に心から感動している子どもの姿を見ることが出来たのは私達にとって大変嬉しいこと。
- ・演奏の感想文は皆自分の中で一番丁寧な字で書いていた。**演奏に魔法の力**を感じました。
- ・東日本大震災から3年。復興はまだですが、**忘れずに支援**していただいた事が、素晴らしい音色とともに子どもたちの心に強く残ったと思います。
- ・ヴァイオリンという楽器に、ましてその最高峰の演奏に触れる機会は、限られます。私たちのような中山間地の小学校では特に本物の音楽に触れる機会には恵まれません。感謝申し上げます。